



平成26年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月6日

上場会社名 株式会社 ザッパラス

上場取引所 東

コード番号 3770 URL <http://www.zappallas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川嶋 真理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ ゼネラルマネジャ (氏名) 小林 真人

TEL 03-6434-1036

四半期報告書提出予定日 平成25年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第1四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第1四半期	1,882	△20.6	175	△70.9	152	△74.9	86	△75.2
25年4月期第1四半期	2,369	△16.8	603	△21.3	606	△21.1	348	△23.4

(注) 包括利益 26年4月期第1四半期 158百万円 (△56.8%) 25年4月期第1四半期 366百万円 (△19.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第1四半期	685.38	680.55
25年4月期第1四半期	2,776.07	2,745.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第1四半期	9,861	8,038	80.9	63,281.12
25年4月期	10,126	8,409	82.4	66,182.87

(参考) 自己資本 26年4月期第1四半期 7,981百万円 25年4月期 8,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	4,200.00	4,200.00
26年4月期	—	—	—	—	—
26年4月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年11月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を実施する予定であるため、26年4月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。
株式分割を考慮しない場合の26年4月期(予想)の期末の1株当たり配当金は2,200円となります。
詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,080	△10.8	140	△84.6	140	△84.8	80	△86.6	6.34
通期	10,100	13.6	1,000	△29.7	1,000	△39.6	620	△32.4	49.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年4月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。
詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期1Q	135,310 株	25年4月期	135,310 株
② 期末自己株式数	26年4月期1Q	9,185 株	25年4月期	9,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期1Q	126,125 株	25年4月期1Q	125,455 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割後の業績予想及び配当について)

当社は、平成25年6月20日開催の取締役会決議により、平成25年11月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度の導入を決定いたしました。これに伴い、株式分割考慮前に換算した平成26年4月期の連結業績予想及び配当予想は以下のとおりとなります。

1. 平成26年4月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益
第2四半期(累計) 634円29銭
通期 4,915円76銭

2. 平成26年4月期の配当予想

期末 2,200円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした新興国経済における成長減速等の懸念材料が見受けられたものの、米国経済の堅調な成長のほか、政府の経済政策や日銀の金融政策によって円安・株高基調へ転じる等、国内経済成長及び景況感の回復に向けた動きが見られました。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、モバイルコンテンツ市場とモバイルコマース市場をあわせたモバイルコンテンツ関連市場が平成24年度には2兆3,507億円（前期比23.3%増）となり、モバイル関連市場の拡大傾向が継続しましたが(*1)、モバイルコンテンツ市場8,510億円（前期比15.9%増）のうち、フィーチャーフォン(*2)市場は4,793億円（前期比26.7%減）と急激に市場が縮小する一方で、スマートフォン(*3)市場は3,717億円（前期比361.2%増）と急成長している状況にあります。

このようにモバイルユーザーのフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行がより一層進む中、当社グループでは、コンテンツ事業においてフィーチャーフォンユーザー及びスマートフォンユーザーの各動向に対して様々な対応策を講じてまいりました。

また、コマース関連事業においては独自性かつ付加価値の高い商材を取り揃えるべく、商品ラインナップの拡充に努めるほか、前連結会計年度に立ち上げた新たなスタイルのコマースサイトの育成に注力してまいりました。

加えて平成24年12月に設立した米国の子会社において海外における事業展開を本格的に始動しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,882,260千円（前年同期比20.6%減）、営業利益175,423千円（前年同期比70.9%減）、経常利益152,314千円（前年同期比74.9%減）、四半期純利益86,443千円（前年同期比75.2%減）となりました。

*1:「2012年モバイルコンテンツ関連市場規模」一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム平成25年8月9日公表の報道資料より引用。

*2:通話機能を主体とし、その他にカメラやワンセグをはじめとする機能を搭載している従来型の携帯電話のこと。

*3:iPhoneやAndroidに代表される、パソコンと同等の機能を持ち合わせた多機能携帯端末のこと。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間よりスマートフォンへの集客施策の一環として広告収益の獲得を目的とする部署を新設したことに伴い、従来の報告セグメントでは「コンテンツ事業」に含めておりました一部コンテンツ等を「その他」に含めるよう変更しております。また、組織変更を行ったことに伴い各報告セグメントに含まれるコンテンツ等の見直しを行っております。以下、前年同期比較は組替え後の前第1四半期連結累計期間と行っております。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、拡大するスマートフォンユーザーを取り込むべく新たな集客の仕組みづくりに努めるほか、新規コンテンツの投入や個別課金メニューの充実などにも継続して取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、フィーチャーフォン向けサービスの売上減少を補うまでには至りませんでした。スマートフォン向けサービスの拡充や広告、CRM(*4)による入会数の増加により、スマートフォン向けサービスの売上高は着実に増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,470,964千円（前年同期比17.1%減）、セグメント利益は588,973千円（前年同期比23.5%減）となりました。

*4:情報システムを応用して企業が顧客と長期的な関係を築く手法のこと。

②コマース関連事業

当社グループのコマース関連事業には、Eコマース事業（モバイル・PC）のほか、ナチュラルコスメの卸・小売事業を手掛ける株式会社ビーバイイーが含まれております。

Eコマース事業につきましては、前連結会計年度より開始した新たなスタイルのコマースサイトの育成に注力してまいりました。新規コマースサイトのうち「藤巻百貨店」はfacebookを活用した販促活動等が奏功し売上高を拡大させたものの、既存のモバイルコマースサイトの売上高が減少したためEコマース事業の売上高は引き続き減少傾向で推移いたしました。

また株式会社ビーバイイーは、当第1四半期連結累計期間において新たな商品の投入計画がなかったため、前第1四半期連結累計期間と比較して売上高は減少しておりますが、ほぼ計画どおりにて推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は251,001千円（前年同期比52.5%減）、セグメント損失は92,818千円（前年同期は70,404千円のセグメント利益）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、米国に拠点を置く当社100%子会社であるZappallas, Inc. (U.S.)のDaily Insight Group (以下、「DIG」という。)が占いビジネスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き体制基盤強化のためのスタッフの増員に加えて、営業、管理のオペレーション整備を実施いたしました。米国での占いビジネスは主に広告収入モデルにて展開しておりますが、日本の課金型コンテンツの一部を米国向けに提供開始するなど、新たな試みも開始しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は109,872千円、セグメント損失は31,651千円となりました。

④その他の事業

その他の事業につきましては、モバイルサイト開発受託及び「Y! Suica」等のサイト運営や、主に中高生向けのプロフィールサイト「前略プロフィール」における広告販売のほか、新規メディアの運営や新サービスの開発等に積極的に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、スマートフォンへの集客施策及び新規事業における積極的な広告宣伝施策を実施したことにより、コスト負担が増加する結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は50,422千円（前年同期比25.3%減）、セグメント損失は117,145千円（前年同期は38,678千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して265,188千円減少し、9,861,122千円となりました。その主な要因は、売上高の減少による売掛金の減少額323,538千円によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して106,160千円増加し、1,822,516千円となりました。その主な要因は、長期借入金等の減少額43,990千円があったものの、未払金の増加額71,924千円、未払法人税等の増加額90,189千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して371,349千円減少し、8,038,606千円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加額77,298千円があったものの、配当金の支払等による利益剰余金の減少額443,281千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

フィーチャーフォンからスマートフォンへのユーザー移行が進む中、モバイルビジネスを取り巻く環境は大きく変化しています。このような環境下において、当社グループでは、主要な顧客層が年齢を重ねても当社グループのサービスを利用し続けていただくことを目的とし、幅広い年齢層に対応した多様なサービスを提供する「ライフタイムプラットフォーム」戦略を推進する方針です。具体的には、様々なユーザーニーズに対応するため、占いに続く軸となる新たなコンテンツやサービスの開拓・育成に注力するとともに、デバイスに依存しない集客の仕組みづくりに取り組んでまいります。また、本方針に基づき、多面的な展開を図るにあたり、販売管理費の最適化を図るなどコスト管理を徹底して行う一方、新たな成長事業の開発・育成に向け、広告宣伝費を含めた投資を行うなど経営基盤の強化に積極的に取り組んでまいります。

平成26年4月期の業績予想につきましては、概ね当初予想どおり順調に推移しており、平成25年6月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,188,950	4,181,038
売掛金	1,696,899	1,373,361
有価証券	503,856	503,927
商品及び製品	67,658	86,283
未収還付法人税等	88,167	119,026
短期貸付金	—	11,419
その他	194,023	159,018
貸倒引当金	△15,240	△17,961
流動資産合計	6,724,317	6,416,114
固定資産		
有形固定資産	137,266	171,967
無形固定資産		
ソフトウェア	369,462	330,174
のれん	1,991,846	2,010,711
その他	53,416	54,252
無形固定資産合計	2,414,726	2,395,138
投資その他の資産		
投資有価証券	500,152	500,152
長期貸付金	—	43,100
その他	349,848	356,253
貸倒引当金	—	△21,604
投資その他の資産合計	850,001	877,901
固定資産合計	3,401,994	3,445,008
資産合計	10,126,311	9,861,122
負債の部		
流動負債		
買掛金	304,100	262,665
未払金	454,311	526,235
1年内返済予定の長期借入金	190,643	186,644
未払法人税等	384	90,573
ポイント引当金	10,685	9,828
その他	124,434	158,870
流動負債合計	1,084,557	1,234,816
固定負債		
長期借入金	630,790	586,800
その他	1,008	900
固定負債合計	631,798	587,700
負債合計	1,716,355	1,822,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,464,343	1,464,343
資本剰余金	1,389,718	1,389,718
利益剰余金	6,952,913	6,509,631
自己株式	△1,418,644	△1,418,644
株主資本合計	8,388,331	7,945,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,804	△1,804
為替換算調整勘定	△39,212	38,086
その他の包括利益累計額合計	△41,016	36,282
少数株主持分	62,641	57,274
純資産合計	8,409,955	8,038,606
負債純資産合計	10,126,311	9,861,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)
売上高	2,369,332	1,882,260
売上原価	711,393	587,049
売上総利益	1,657,938	1,295,210
返品調整引当金繰入額	5,385	—
返品調整引当金戻入額	42	—
差引売上総利益	1,652,595	1,295,210
販売費及び一般管理費	1,049,084	1,119,786
営業利益	603,511	175,423
営業外収益		
受取利息	107	283
為替差益	—	1,880
持分法による投資利益	121	—
貸倒引当金戻入額	3,424	1,945
その他	302	808
営業外収益合計	3,955	4,918
営業外費用		
支払利息	665	1,756
貸倒引当金繰入額	—	26,270
その他	32	—
営業外費用合計	698	28,027
経常利益	606,768	152,314
特別損失		
固定資産除売却損	122	76
特別損失合計	122	76
税金等調整前四半期純利益	606,646	152,238
法人税、住民税及び事業税	212,961	86,847
法人税等調整額	26,814	△15,686
法人税等合計	239,776	71,161
少数株主損益調整前四半期純利益	366,870	81,076
少数株主利益又は少数株主損失(△)	18,599	△5,366
四半期純利益	348,271	86,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	366,870	81,076
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	77,298
その他の包括利益合計	—	77,298
四半期包括利益	366,870	158,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,271	163,742
少数株主に係る四半期包括利益	18,599	△5,366

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	コマース 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,773,543	528,310	2,301,854	67,477	2,369,332	—	2,369,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,773,543	528,310	2,301,854	67,477	2,369,332	—	2,369,332
セグメント利益又は セグメント損失(△)	769,795	70,404	840,199	△38,678	801,521	(198,010)	603,511

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託業務及び広告事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年5月1日 至平成25年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	コマース 関連事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,470,964	251,001	109,872	1,831,838	50,422	1,882,260	—	1,882,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,470,964	251,001	109,872	1,831,838	50,422	1,882,260	—	1,882,260
セグメント利益又はセグメント損失(△)	588,973	△92,818	△31,651	464,503	△117,145	347,358	(171,934)	175,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託業務及び広告事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、スマートフォンへの集客施策の一環として広告収益の獲得を目的とする部署を新設したことに伴い、従来の報告セグメントでは「コンテンツ事業」に含めておりました一部コンテンツ等を「その他」に含めるよう変更しております。また、組織変更を行ったことに伴い各報告セグメントに含まれるコンテンツ等の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、集計方法変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。